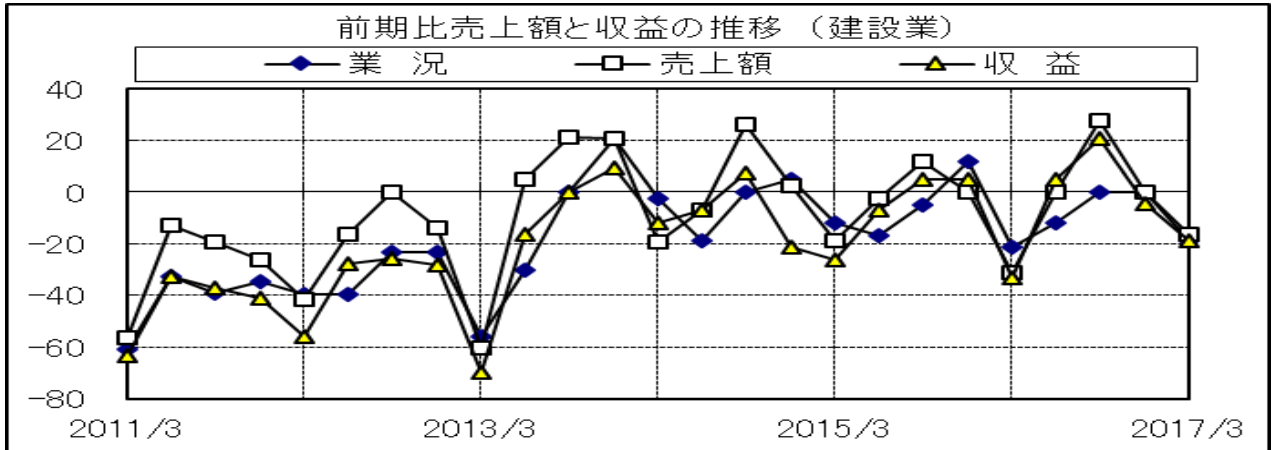


# 建設業 43 企業 (回答率 100.00%) の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
業 況	0.0	0.0	-18.6	0.0
売上額	27.9	0.1	-16.3	18.6
収 益	20.9	-4.7	-18.6	20.9

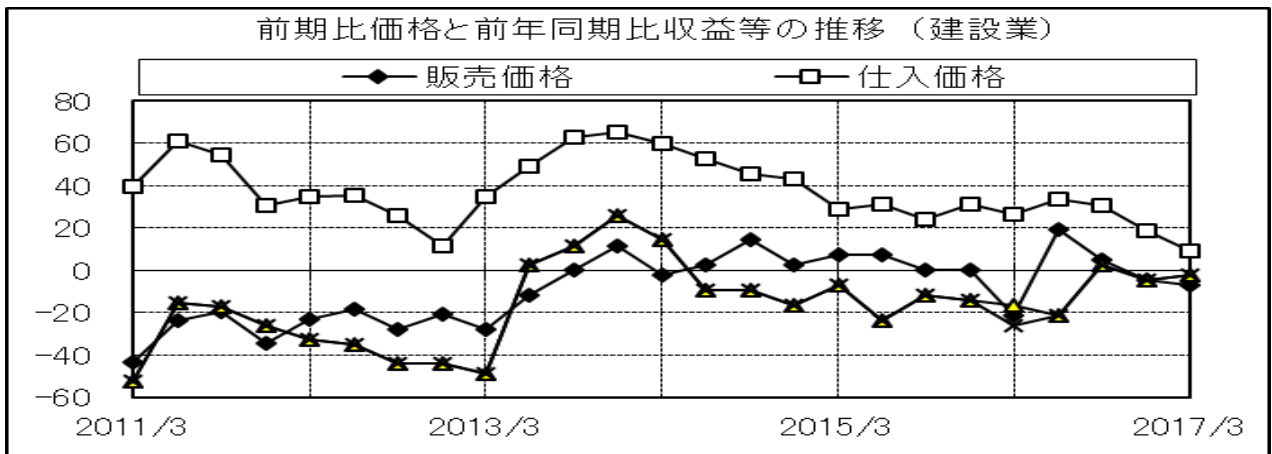
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 18.6$  で、前期比 18.6 ポイント下降、前年( $\Delta 21.4$ )比では 2.8 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、浦河・様似が同率で一番高く、静内・三石が同率で続き、次にえりも、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、前期比で 16.4 ポイント下降した。収益判断 D. I. は前期比で 13.9 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
請負価格	4.7	-4.6	-7.0	-2.4
仕入価格	30.2	18.6	9.3	11.7

請負価格判断 D. I. は $\Delta 7.0$  で、前期比 2.4 ポイント下降、前年( $\Delta 21.5$ )比では 14.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 9.3 で、前期比 9.3 ポイント下降、前年(26.2)比でも 16.9 ポイント下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
残業時間	13.9	2.3	2.3	0.0
人手状況	-25.7	-11.6	-6.9	-11.6

残業時間判断 D. I. は 2.3 と前期と同率となり、残業時間の変動は無かった。人手過不足判断 D. I. は $\Delta 6.9$  と、前期比 4.7 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

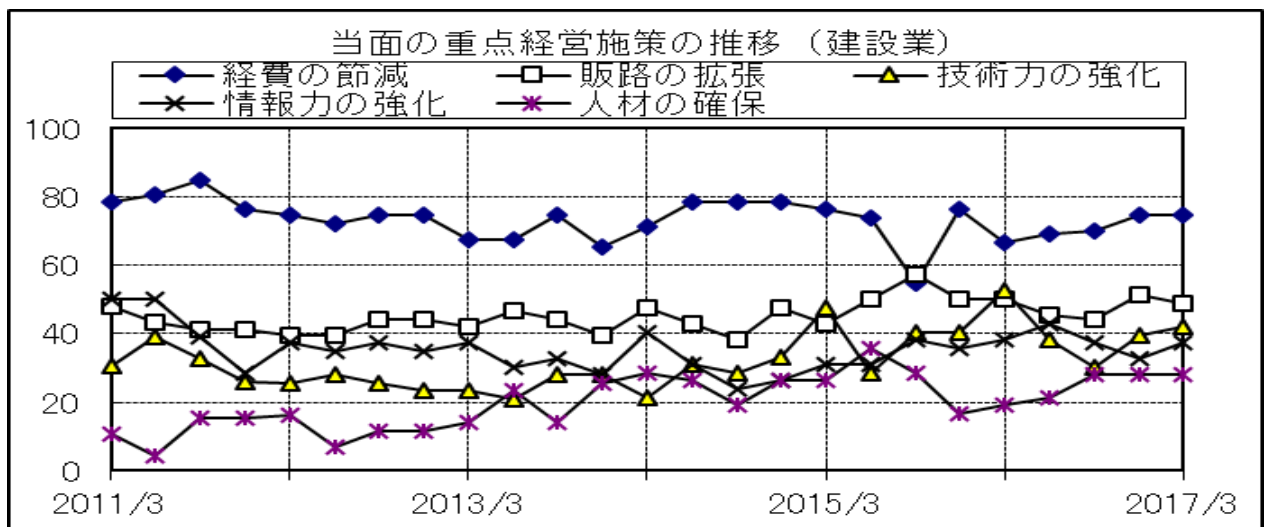
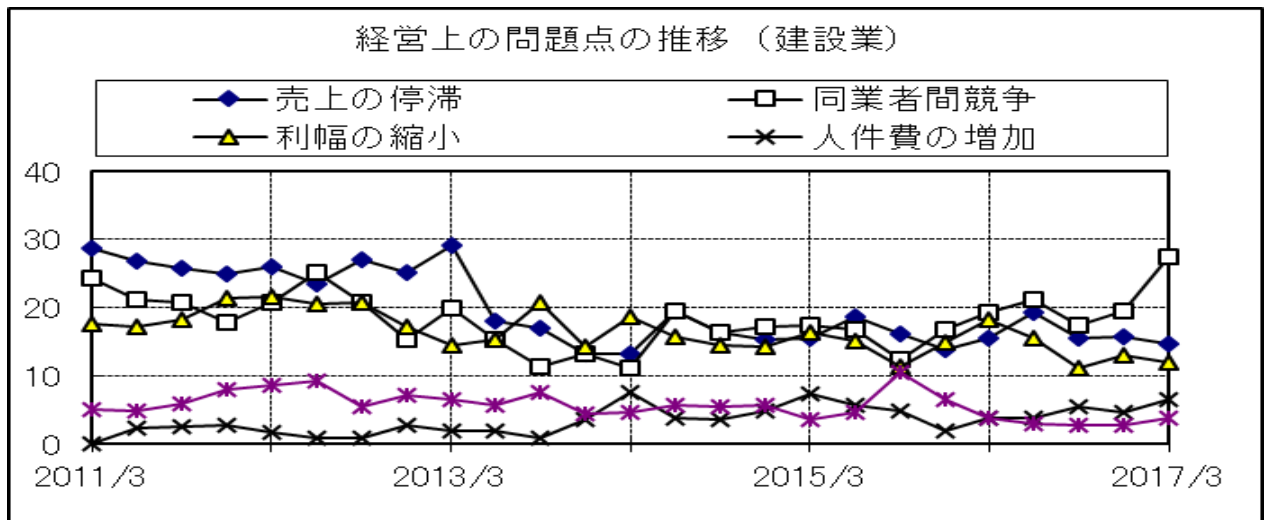
設備投資の充足感を示すD. I.は $\Delta 4.6$ で、前期( $\Delta 9.3$ )比で4.7ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は9.3と、前期と同率となった。設備投資は、前期4社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」27.5%、「売上の停滞減少」14.7%、「利幅の縮小」11.9%、「大手企業との競合」11.0%、「人手不足」9.2%、「人件費の増加」6.4%、「材料価格の上昇」・「下請けの確保難」が同率の5.5%、と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」74.4%、「販路を広げる」48.8%、「技術力を高める」41.9%、「情報力を強化する」37.2%、「人材の確保」27.9%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I.は0.0と、今期比18.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I.は18.6と、今期比34.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I.は20.9と、今期比39.5ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I.は $\Delta 2.4$ と、今期比4.6ポイントの上昇を見通している。

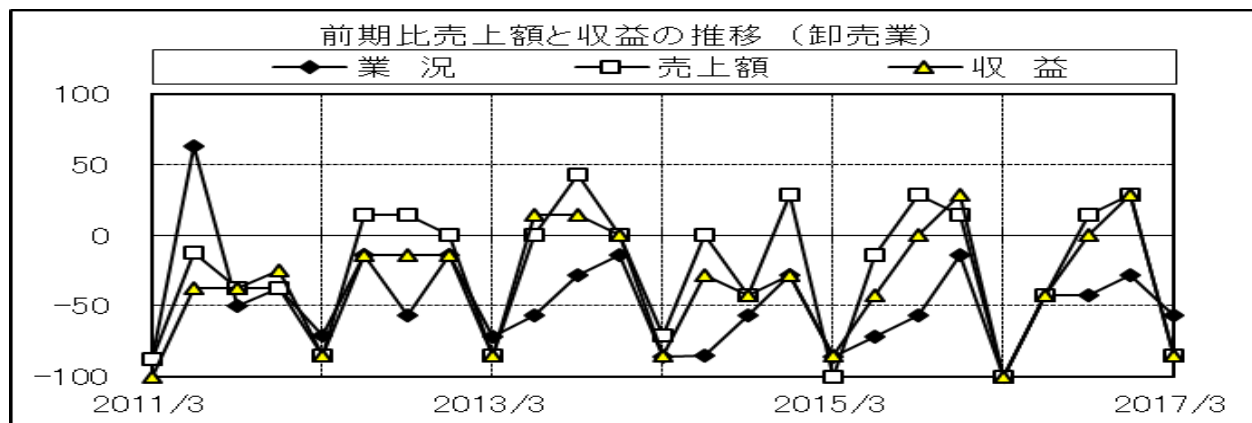
予想仕入価格判断D. I.は11.7と、今期比2.4ポイントの上昇を見通している。

## 卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
業況	-42.8	-28.6	-57.2	-28.6
売上額	14.3	28.6	-85.7	14.3
収益	0.0	28.6	-85.7	14.3

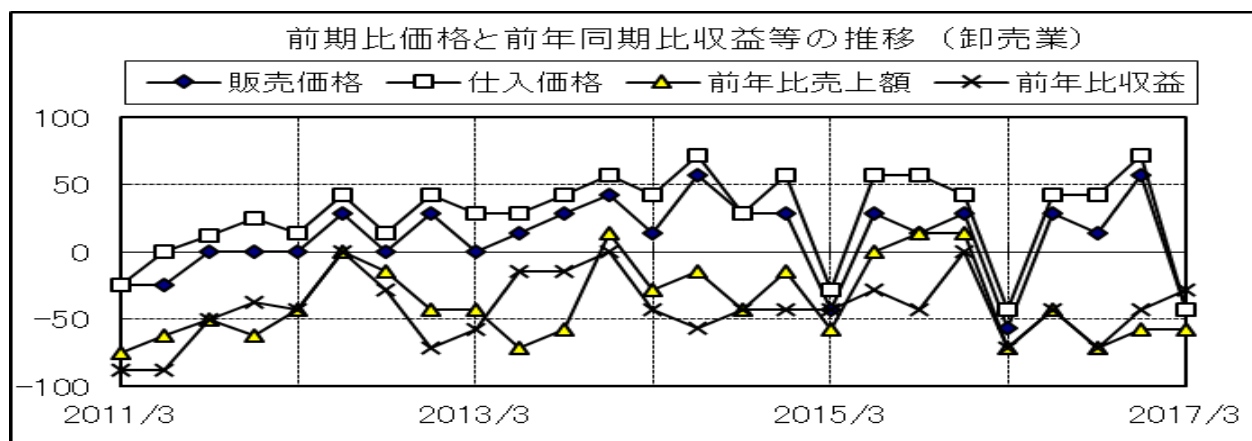
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 57.2$ で、前期比 28.6 ポイント下降、前年 ( $\Delta 100.0$ ) 比では 42.8 ポイント上昇した。地区別の水準は、様似地区が横這、浦河地区は上昇、静内地区は下降となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 85.7$ で、前期比 114.3 ポイント、収益判断 D. I. は $\Delta 85.7$ で、前期比 114.3 ポイントそれぞれ下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
販売価格	14.3	57.2	-42.8	28.6
仕入価格	42.8	71.5	-42.8	28.6

販売価格判断 D. I. は $\Delta 42.8$ で、前期比 100.0 ポイント下降、前年 ( $\Delta 57.1$ ) 比では 14.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は $\Delta 42.8$ で、前期比 114.3 ポイント下降、前年 ( $\Delta 42.8$ ) 比では横ばいとなった。業種別では、水産業、食品業が、販売・仕入価格ともに下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	-28.6	-14.3
人手状況	-28.6	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は $\Delta 28.6$ で、前期比 28.6 ポイント下降し残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断 D. I. は 0.0 で前期比横ばいのゼロ水準となり、人手不足感は解消されている。

## □ 設備投資の動き

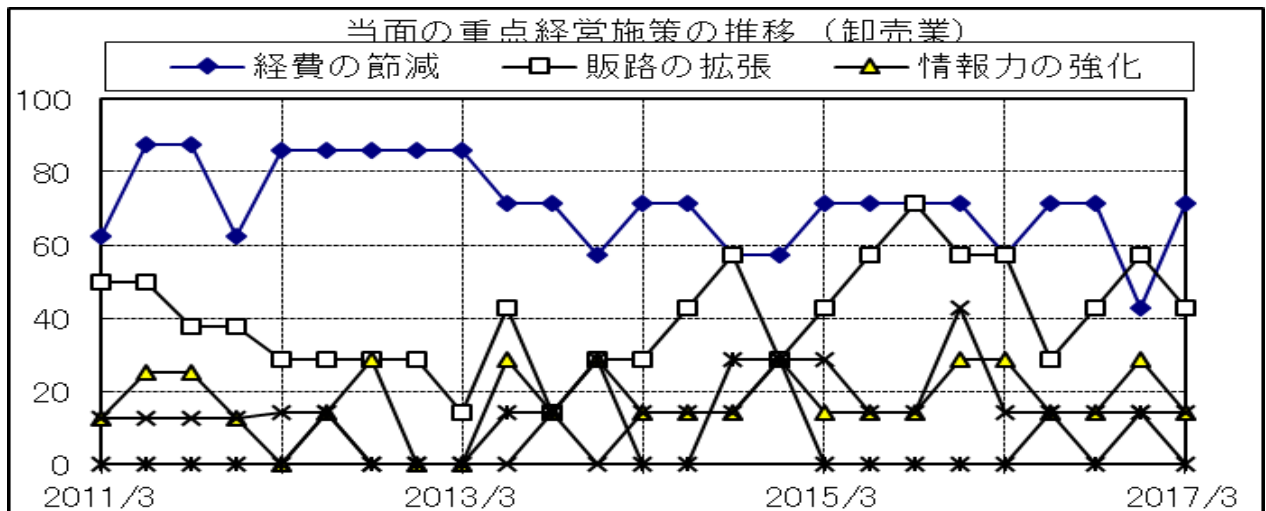
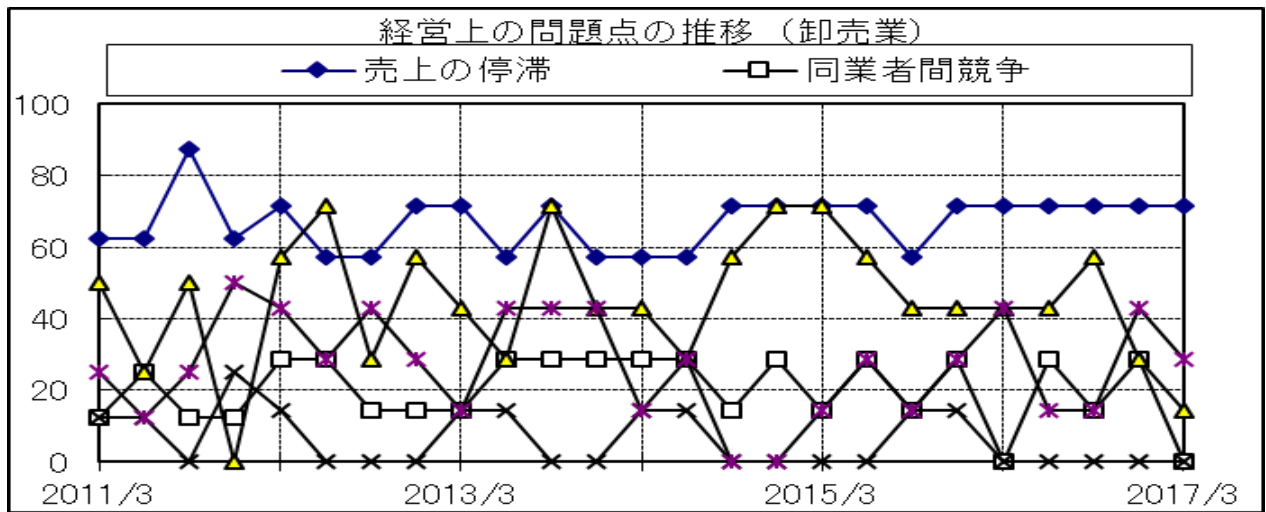
設備投資の充足感を示すD. I. は前期比横這いのゼロ水準となった。

設備実施企業割合は 42.9%で前期比 14.2 ポイント下降、設備投資は、前期 4 社に対し、3 社の実績となった。来期の設備投資予定は 0 社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「取引先の減少」42.9%、「扱い商品の陳腐化」・「天候不順」・「地場産業の衰退」が同率の 28.6%、「駐車場の確保難」・「利幅の縮小」・「販売商品の不足」が同率の 14.3%で続いた。

重点経営施策では、「経費の節減」71.4%、「販路を広げる」・「品揃えの充実」が同率の 42.9%、「情報力を強化する」・「新事業を始める」・「流通経路を見直す」・「不動産の有効活用」が同率の 14.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△28.6 と、今期比 28.6 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は 14.3 と、今期比 100.0 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は 14.3 と、今期比 100.0 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は 28.6 と、今期比 71.4 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は 28.6 と、今期比 71.4 ポイントの大幅な上昇を見通している。